

# 社説

朗報は届かなかった。次回を期して、地元之宝の魅力を国内外の人に認めてもらう取り組みが一層必要になるだろう。

2017年度の世界文化遺産登録を推薦する候補は福岡の「宗像・沖ノ島と関連遺産群」に決まり、期待された佐渡金銀山は選に漏れた。残念なことだ。

## 佐渡金銀山選外

### 次回を期して運動推進を

朗報は届かなかった。次回を期して、地元之宝の魅力を国内外の人に認めてもらう取り組みが一層必要になるだろう。

2017年度の世界文化遺産登録を推薦する候補は福岡の「宗像・沖ノ島と関連遺産群」に決まり、期待された佐渡金銀山は選に漏れた。残念なことだ。

市町村や企業など多くの団体が加盟する「県民会議」が14年に発足し、世界遺産への早期登録に向けた意識を高めてきた。

佐渡金銀山には長い歴史がある。西三川砂金山は、平安時代から砂金が採れたとされる。江戸時代には、世界最大級の相川金銀山が開発された。

私たち県民にはこの宝の素晴らしさが十分に理解でき、国内推薦に選ばれるのは当然だと多くの人が思ったのではないか。

確かに世界文化遺産登録を推進する運動には、曲折があったこと

証が求められよう。次回の推薦を目指して、資産を維持、保全する技術も必要だ。施設保全に向けて他県の取り組みも参考にしなければならない。

何より佐渡を国内外にアピールするチャンスだった。北陸新幹線が開業したこともあり、観光客誘致、交流人口の拡大につなげたかったが、登録推進の運動は今後も盛り上げていくべきだ。

国内推薦は「宗像・沖ノ島」と「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」、大阪の「百舌鳥・古市古墳群」の3件と争った。いずれもすぐれた史跡であろう。

佐渡金銀山は世界的な価値、普遍的な価値があるとの評価を受け、世界でも珍しい例だ。

運動が停滞した。また、世界文化遺産登録が決まった「明治日本の産業革命遺産」は朝鮮人労働者の「徴用」をめぐる日韓両政府が対立した。

佐渡金銀山の一部の構成資産でも戦時中、朝鮮人労働者が働いていた歴史がある。きちんとした検

遺産登録のためには、金銀山の歴史のスケール、継承してきた文化を感性だけではなく、フランス語や英語で論理的に説明することも必要になるだろう。

また現地を訪れていない人も納得させなければならない。石見銀山とは違う佐渡ならではの特色をさらに発信していきたい。

推薦を求めていた「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」が候補に選ばれていれば、政府が16年2月1日までに国連教育科学文化機関(ユネスコ)へ推薦書を提出する

国内推薦は「宗像・沖ノ島」と「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」、大阪の「百舌鳥・古市古墳群」の3件と争った。いずれもすぐれた史跡であろう。

佐渡金銀山は世界的な価値、普遍的な価値があるとの評価を受け、世界でも珍しい例だ。

金を求めて全国から鉱山技術者や多くの労働者が佐渡に集まり、いくつもの集落ができて、豊かな文化が生まれた。

400年以上にわたる金生産社

佐渡金銀山の一部の構成資産でも戦時中、朝鮮人労働者が働いていた歴史がある。きちんとした検

また現地を訪れていない人も納得させなければならない。石見銀山とは違う佐渡ならではの特色をさらに発信していきたい。

佐渡金銀山は世界的な価値、普遍的な価値があるとの評価を受け、世界でも珍しい例だ。

佐渡金銀山の一部の構成資産でも戦時中、朝鮮人労働者が働いていた歴史がある。きちんとした検

また現地を訪れていない人も納得させなければならない。石見銀山とは違う佐渡ならではの特色をさらに発信していきたい。

また現地を訪れていない人も納得させなければならない。石見銀山とは違う佐渡ならではの特色をさらに発信していきたい。